



広報おうめ「なんでも情報局アンテナ」の締め切りは、2月15日号…1月20日(木)、3月1日号…2月4日(金)です。 - 秘書広報課 -

なんでも情報局 アンテナ

☆催し(子ども向け)

●ねむのき幼稚園から ★とことこクラブ:1月28日(金) 午前9時30分~10時30分

●はじめてみませんか? ドウォッチング 2月19日(土) 午前9時15分~正午

●初心者卓球教室 1月21日~2月4日の金曜日、11日(祝)、18日(金)、25日(金)

●家族会による精神保健福祉相談会 1月27日(木) 午後1時~4時

●うたごえ喫茶ねがい 1月30日(日) 午後1時~4時

●70歳からの英会話 木曜日(月3回) 午前9時30分~11時

●健康体操 月曜日 午前10時~正午

●ジュニアバレーボール 月・水・木曜日 午後5時30分~7時

●ふれあい大掃除サービス 利用者・協力員募集

●ボランティア・市民活動センターから 申し込み・問い合わせ

●視覚障害者のためのスマホ、パソコン教室

●ねむのき幼稚園から ★とことこクラブ

●はじめてみませんか? ドウォッチング

●初心者卓球教室

●家族会による精神保健福祉相談会

●うたごえ喫茶ねがい

●70歳からの英会話

●健康体操

●ジュニアバレーボール

●ふれあい大掃除サービス

モンテッソーリに触れて楽しく子育て

●ねむのき幼稚園から ★とことこクラブ

●はじめてみませんか? ドウォッチング

●初心者卓球教室

●家族会による精神保健福祉相談会

●うたごえ喫茶ねがい

●70歳からの英会話

●健康体操

●ジュニアバレーボール

●ふれあい大掃除サービス

●ボランティア・市民活動センターから

●視覚障害者のためのスマホ

●ねむのき幼稚園から

●はじめてみませんか?

●初心者卓球教室

●家族会による精神保健福祉相談会

●うたごえ喫茶ねがい

●70歳からの英会話

●健康体操

●ジュニアバレーボール

●ふれあい大掃除サービス

●ボランティア・市民活動センターから

●25日は講談の日

●ねむのき幼稚園から

●はじめてみませんか?

●初心者卓球教室

●家族会による精神保健福祉相談会

●うたごえ喫茶ねがい

●70歳からの英会話

●健康体操

●ジュニアバレーボール

●ふれあい大掃除サービス

●ボランティア・市民活動センターから

●視覚障害者のためのスマホ

●ねむのき幼稚園から

●はじめてみませんか?

●初心者卓球教室

●家族会による精神保健福祉相談会

●うたごえ喫茶ねがい

●70歳からの英会話

●健康体操

●ジュニアバレーボール

●ふれあい大掃除サービス

●ボランティア・市民活動センターから

●25日は講談の日

●ねむのき幼稚園から

●はじめてみませんか?

●初心者卓球教室

●家族会による精神保健福祉相談会

●うたごえ喫茶ねがい

●70歳からの英会話

●健康体操

●ジュニアバレーボール

●ふれあい大掃除サービス

●ボランティア・市民活動センターから

●視覚障害者のためのスマホ

●ねむのき幼稚園から

●はじめてみませんか?

●初心者卓球教室

●家族会による精神保健福祉相談会

●うたごえ喫茶ねがい

●70歳からの英会話

●健康体操

●ジュニアバレーボール

●ふれあい大掃除サービス

●ボランティア・市民活動センターから

●25日は講談の日

●ねむのき幼稚園から

●はじめてみませんか?

●初心者卓球教室

●家族会による精神保健福祉相談会

●うたごえ喫茶ねがい

●70歳からの英会話

●健康体操

●ジュニアバレーボール

●ふれあい大掃除サービス

●ボランティア・市民活動センターから

●視覚障害者のためのスマホ

●ねむのき幼稚園から

●はじめてみませんか?

●初心者卓球教室

●家族会による精神保健福祉相談会

●うたごえ喫茶ねがい

●70歳からの英会話

●健康体操

●ジュニアバレーボール

●ふれあい大掃除サービス

●ボランティア・市民活動センターから

青梅市の文化遺産61

両郡橋

市文化財保護指導員 塚田直樹

市内の標高で最も高い地点は、市内西端にある御岳の鍋割山山頂の1千84mで、最も低い地点は、市内富岡にある東京都と埼玉県境との近く、成木川に架かる両郡橋下流の103mです。

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下では、「都道府県をまたぐ移動の自粛」という言葉が聞かれました。

市は東京都の他の自治体と接するだけでなく、埼玉県とも接しています。

その一つ、埼玉県飯能市との境にある両郡橋を今回取り上げます。

今から100年以上前の明治時代の後半になると、青梅町周辺でも人流の増加や交通網(交通手段)の発達が見られました。

「南高麗郷土史」によると、下畑村(現在の飯能市下畑)と小曾木村を結ぶ飯能・青梅道において、どこかの場所成木川を渡るか、どこに橋を架けるかで議論がなされ、中には下畑からまっすぐ南に向かって、成木川を渡る橋を架けようとする意見もあったとされます。

その結果、明治45(1912)年、現在の

両郡橋の場所(木造アーチ橋)として架けられました。

その後、大正15(1926)年に架け替わられ、橋の中央部には街路灯が四灯あり、当時の橋としては斬新であったといわれています。

戦時中は消灯され、戦後迎えたため、昭和45(1970)年に構造を一新して現在の橋になっていきます。

両郡橋の由来は、青梅市(旧西多摩郡)、飯能市(旧入間郡)二つの郡を結ぶ橋と推察されま



問い合わせ 郷土博物館 23・6859